



第112回

私のスケッチブック

「6人の王妃に愛された貴婦人の城」

リーズ城／ケント州（イングランド）



イギリス南東部ケント州にある広大なお城です。個人で訪れるとロンドン・ヴィクトリア駅からピアステッドまで列車、そこからローカルバスでリーズ城の入口まで約2時間の旅。そして、入場券を購入してからお城の入口まで徒歩30分ぐらいかかり、コストは70ポンド位は必要です。観光バスで訪ねるとリーズ城～カンタベリー大聖堂～ドーバー海峡～グリニッジ～テムズ・クルーズで85ポンド程度ですから…観光バスの旅がお勧めです。

ヘンリー1世の時代の1119年に建築されて、13世紀から16世紀にかけて英国王室の城として運営されます。そして、最後の所有者が凄いです。アメリカ系の資産家レディー・ヘイリー夫人の所有となり、1976年に一般公開されます。国や州の助成金や援助すら受ける事無く、入場料と各種イベントの開催などの収益金で運営されているそうです。600エーカーとも云われる美しい田園地帯と森を有する広大な敷地を管理し、

世界的にも最も美しいと評されるお城を維持するのですから驚嘆します。

1980年から100種類以上の野鳥が飼育され、至る所で観察できますし、カルペパー・ガーデンでは果物からお花、ハーブ等を幅広く栽培し、城内のレストランでも賞味できます。

私のお気に入り、ホテルです。5ツ星のコテージは是非とも泊まりたい素敵なロケーションです。6人の王妃に愛された貴婦人の城と呼ばれ、城内の内装は女性らしい雰囲気印象的でした。

そうそう、フランスにも6代にも渡って女性が城主だった名城が、ロワール地方のシュノンソーに在ります。リーズ城同様に館には、大きなワイン庫と立派なキッチンが備えられて、観光客をも魅了させます。美しい庭園と森や水辺に囲まれた、女性的なお城です。

延原 慎吾



1946年、岡山県生まれ。現在、東京都内在住。物流会社を経営するかたわら欧州物流コンサルタントとして渡欧の際、歴史的建造物及び風景の美しさに魅せられて水彩画を始める。
「第71回 全国カレンダー展」に12度目の入選を果たし、その実力を発揮する。
<http://www.urban.ne.jp/home/nobu36>

水彩画 延原

Q 検索